

# 平成30年度予算見積調書

課室名：みどり自然課

担当名：野生生物担当

内線：3154

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B69	野生生物保護事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律			宣言項目		
					分野施策	051247 生物多様性の保全		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>野生生物の生息数や生息地を適正なものとするため、生息状況等を調査するとともに、鳥獣保護管理事業計画や第二種特定鳥獣管理計画に基づき、野生生物の適切な保護管理を図る。</p> <p>(1) ガンカモ類の生息調査 2,764千円                      (2) 特定鳥獣保護管理事業 20,626千円                      (3) カワウ広域保護管理事業 2,865千円                      (4) オオタカ等保護促進事業 1,086千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア ガンカモ類の生息調査 生息状況調査（県内167か所） 2,764千円                      イ 特定鳥獣保護管理事業 県保護管理検討委員会開催、生息状況調査、放射性物質調査 20,626千円                      ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域協議会参加、県協議会開催、生息状況調査 2,865千円                      エ オオタカ等保護促進事業 生息状況調査（県内160か所） 1,086千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ガンカモ類の生息調査 環境省の方針に基づき 毎年度1回実施                      イ 特定鳥獣保護管理事業 第二種特定鳥獣管理計画に基づく事業の検証と見直し                      ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域保護管理指針に基づき、毎年度調査及び協議会を実施                      エ オオタカ等保護促進事業 オオタカ営巣地調査を実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア ガン・カモ・ハクチョウ類の冬季の生息状況及び渡来傾向、生息地等の基礎資料を得られる。                      イ イノシシ・ニホンジカ等の個体群の安定維持、人と野生鳥獣との共生と被害防止対策の計画的な推進が図られる。                      ウ カワウを絶滅させることなく、被害を減少させるために、隣接都県と連携した広域的な調査や対策を実施できる。                      エ 県内で生息数の少ないオオタカ及びクマタカを、開発行為等から保護するための生息情報を得ることができる。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） （区分）林野行政費（細目）鳥獣行政費 （細節）鳥獣行政費 （積算内容）鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	27,341						27,341	△7,335
前年額	34,676						34,676	